



# 園だより3月号



YMCA オリーブ保育園

2025年3月1日 発行

園長 矢野 久美

## 今月のねがい

\*自分の思いが大切にされる

\*讚美歌

つくしのよう

\*大きくなったことを喜び新しい生活に期待をもつ

あたたかな日差しが春の訪れを感じさせてくれるようになりました。



ある日の朝、2階の保育室に入ると1歳児の男の子が『おかえりなさい!』と笑顔で駆け寄ってきてくれました。思わず『ただいま!』と、その子を抱き寄せると、穏やかな空気が部屋の中に流れたのを感じました。心がとても暖かくなる瞬間でした。そのあと事務所に戻ると、今度は2歳児の男の子が勢いよく事務所の中に入ってきて、握りしめていた小さな葉っぱを差し出して『これあげる』とデスクに置くと、足早に2階に駆け上がっていきました。オリーブ保育園という空間がまるで家庭の中にあるような気持ちにさせてくれる子どもたちを、本当に愛おしく感じています。

早いもので、日々紡いできたこの家族で過ごすのも残り一か月となりました。本年度も私たち保育者は、子どもたち、そして温かいまなざしで見守ってくださっていた保護者の方々に育てられた日々だった事を実感しています。どのクラスの子どもたちを見ても、一人ひとりの“いのち”が輝き、今の時を喜びをもって生きている姿を、とても眩しく誇らしく感じています。

オリーブ保育園で一緒に過ごした時間は私たちにとっても最高の宝物であり、関わってきた、全ての人々の愛情の種はしっかりと子どもたちの心の奥に刻まれている事でしょう。

これから長く続いて行く人生の中では、ほんの一瞬の時間かもしれません。

しかし、一番大切にかけがえのない時間であることは間違いありません。

そんな大切な時間を共に過ごせたこと、私たち保育者も決して忘れることはありません。未来に向かって歩いていく後姿を、私たちはこれからもずっと見守り応援していきます。

最後にこの一年間、保護者の皆さまには、保育園へのあたたかなご理解とご協力を頂きましたことを職員一同、心より感謝いたします。

そして、これからも皆さまに愛される保育園でありますよう職員全員で心を合わせ歩んで参りたいと思います。一年間、本当にありがとうございました。

そしてさくら組さん、卒園おめでとう。

